

事務事業名		Y・Sセンター等維持管理事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業																									
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間																									
	施策名	07 ともに支え合う地域づくりの推進																											
	基本事業名	03 相互扶助の啓発と普及		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度～)																									
根拠法令				☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																									
所属	部課名	生活福祉部地域福祉課		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 3 1 1 03 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(1～4以外)																									
	課長名	佐々木 毅																											
	係名	福祉推進係	電話 27-3111																										
	担当者	菊地 正展	内線 188																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 大船渡市Y・Sセンターは、児童から高齢者まであらゆる世代間の交流による学習、伝承、余暇活動、相互理解等の場を提供するため、活力とうるおいの丘アスパークのあるまちづくり事業により整備した施設である。 当該施設は、平成18年度から大船渡市社会福祉協議会に指定管理委託しており、事業費は、当該委託料のほか、修繕・更新等に係る費用である。																													
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																											
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
		一般財源																											
	事業費計(A)	0																											
	人件費	正規職員従事人数																											
延べ業務時間																													
人件費計(B)		0																											
トータルコスト(A)+(B)		0																											

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

施設利用者への使用手続き、使用料の徴収、各種講座の開催、施設管理

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

前年度と同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

大船渡市Y・Sセンター及び利用者

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

大船渡市Y・Sセンターを適切に管理運営してもらう。
大船渡市Y・Sセンターの施設、附帯設備を利用し、健康増進や学習・文化の向上を図ってもらう。

④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)

福祉に関心を持たせ、正しく理解してもらう。
協力して積極的に福祉活動に取り組んでもらう。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 開館日数	日
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 大船渡市Y・Sセンター施設面積	m ²
キ	
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 施設不具合修繕件数	件
シ Y・Sセンターの収支比率(収入額/支出額)	%
ス Y・Sセンター利用者数	人

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円					
			都道府県支出金	千 円					
			地方債	千 円					
			その他	千 円					
			一般財源	千 円	33,500	33,000	33,000	33,000	34,500
	事業費計 (A)		千 円	33,500	33,000	33,000	33,000	34,500	34,500
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	2	2	2	2
		延べ業務時間	時 間	20	20	10	10	10	10
		人件費計 (B)	千 円	80	80	40	40	40	40
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	33,580	33,080	33,040	33,040	34,540
⑤活動指標		ア	日	311	309	309	311	294	311
		イ							
		ウ							
⑥対象指標		カ	m ²	47,500	47,500	47,500	47,500	47,500	47,500
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	件	17	23	19	6	5	15
		シ	%	33.3	28.2	25.8	23.8	23.6	30.0
		ス	人	70.631	64.926	61.938	51.322	51.410	55.000

事務事業ID	0157	事務事業名	Y・Sセンター等維持管理事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 活力とうるおいの丘リアスパークのあるまちづくり事業により建設した大船渡市Y・Sセンターの管理運営を行うため。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 H4の開業当初は、室内温水プールはもの珍しさもあり利用者数も多かったが、開設以来、年々利用者数は減少傾向にあった。震災後は、市内で屋内温水プールが1箇所となったことや、低額で入浴施設が利用できたことから、利用者は震災前より増加した。現在は市内の民間のプール施設が復旧したことからプール利用者は徐々に減少しているが、低料金で気軽に利用できることから、その役割は大きい。
 また、施設が老朽化しており、修繕箇所が増加している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 低額で入浴施設が利用できることが利用者から喜ばれている。修繕箇所が増加していることから、計画的に修繕を進める必要がある。
 利用者から、アスレチック設備の更新に対する要望や、駐車場が少ないとの苦情が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	あらゆる世代のための生きがいや健康づくりなどの拠点として整備された施設を管理運営することは、地域福祉の充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	市民の福祉向上のため必要不可欠な施設として、市が設置した施設であるため。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	委託先である(社福)大船渡市社会福祉協議会の運営は、適正に行われている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	利用を増やすためには、交通の利便性や駐車場の拡大及びアスレチック設備の更新を図る必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	他に、低額で利用できる室内温水プールはなく、年間を通じて、水泳による健康づくりや水泳教室をする公営の施設が市内にはないため。 そのほか入浴施設など低額で利用できていることから、廃止や休止した場合の影響は大きい。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	大船渡市社会福祉協議会の運営は適正に処理されており、委託料を削減することはできない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	委託業務のための、所要時間はかからない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	施設の使用料の見直しを、定期的に行う必要がある。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 これまでも、適切な管理・運営が行われている。引き続き、利用促進を図るとともに、必要に応じて利用料の見直しを検討する。また、施設の老朽化については、施設の長期保全計画で検討を進める。	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	公共施設等総合管理計画の個別施設計画に基づき、施設・設備の計画的な修繕・更新等を行っていく必要がある。また、駐車場の不足について、議会でも指摘を受けており、状況を確認しながら、対応策について検討する。